



市議会だより

きたあきた



実りの秋

〔鷹巣南・鷹巣東(左下)小学生〕

No. 25

平成22年11月1日発行

9月定例会

- 本定例会の審議・結果 2～3
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問 6～9
- 臨時会・全員協議会 10
- 特集・きたあきたの財政 11
- 請願陳情・人事案件 12

北秋田市過疎地域自立促進計画を策定

一般会計 492,664千円を補正
総額 20,237,660千円に

公民館条例の改正を賛成多数で可決

9月定例会は14日開会し、審議された37件のうち、一般会計補正予算など35件を全会一致で、北秋田市過疎地域自立促進計画の策定議案および北秋田市公民館条例の一部を改正する条例の制定議案の2件は賛成多数で、いずれも原案のとおり可決して27日閉会しました。このほか提案された21年度決算22件は、12月議会で結審します。（関連記事最終面に記載）



公民館条例採決の様子

北秋田市過疎地域自立促進計画の策定について

「北秋田市過疎地域自立促進計画の策定について」は、過疎地域自立促進特別措置法による平成28年3月31日までの事業計画を定めるもので、賛成、反対それぞれの立場から討論が行われ、起立採決の結果、賛成多数で原案どおり可決されました。なお、次の

とおり議論が交わされました。

反対討論（福岡由巳議員）

特措法改正の主な特徴は、ソフト事業への拡充と説明されており、地域医療の確保、住民の日常的な交通手段の確保など安全に安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、特別に地方債を財源として行うことが必要と認められる事業と明記されているが、それが北秋田市過疎地域自立促進計画にほとんど反映されていない。借金が無駄にならないようソフト事業についてきちんと明記する手直しをして改めて提案すべき。

賛成討論（米澤一議員）

動議を出さなければ修正ができない。基本があるからこそ、修正すべき点は修正して、改善していくもの。様々な案があったが、不十分ながらも

私たちが主張してきたことなども内容に入っており前進している面もある。

北秋田市過疎地域自立促進計画は、みなさんが安心して暮らせるために、ハード事業だけでなくソフト事業についても、事業の検討、見直しをしながら実施に努めていこうとするものです。



北秋田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

森吉地区の本城分館と阿仁地区の7分館を廃止し、大阿仁分館を23年4月より大阿仁公民館として設置するための条例の一部を改正する条例の制定。

廃止される8分館のうち、荒瀬、奥阿仁（中村）分館はコミュニティセンター、根子分館は「根子番楽伝承館」に変更される方針。

8分館の廃止が9月30日、大阿仁公民館設置が23年4月1日付とする日程のずれに対し、職員の配置や住民説明など設置の準備期間としたい。大阿仁公民館地区で行われている具体的な活動について改正によって活動がとどこおることはないという説明がありました。

革廃を改統を、機構を理化する。施設をよりよく、よりよいものにする。ついでに合図。



議会改革へ本格始動

特別委員会設置へ

これまで議員定数に関する検討委員会を任意で立上げて協議してきましたが、本定例会最終日にこれまでの議会の組織、運営等の見直しを図り、より効率的な議会運営ができるよう議会の改革を推進することを目的とし、議員提案により議会改革特別委員会を設置しました。

委員は次のとおりです。

議会改革特別委員会

委員長
副委員長
委員

米澤 一
松橋 隆
佐藤 重光
長崎 克彦
福岡 由巳
関口 正則
大森 光信
武田 浩人

議員定数の見直しや、議会のあり方全般について調査・研究が行われ、議会について改善していけるよう話し合います！



議会改革特別委員会ってどんなことが話し合われるんですか？

今定例会で審議された議案と結果

事 件	審議結果		事 件	審議結果	
北秋田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	原案可決	平成22年度北秋田市七日市財産区特別会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決
北秋田市福田獅子舞伝承館条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決	平成22年度北秋田市米内沢財産区特別会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決
北秋田市荒瀬地区コミュニティセンター条例の全部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決	平成22年度北秋田市前田財産区特別会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決
北秋田市中村地区コミュニティセンター条例の全部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決	平成22年度北秋田市阿仁合財産区特別会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市一般会計補正予算(第4号)	全会一致	原案可決	平成22年度北秋田市大阿仁財産区特別会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	平成22年度北秋田市水道事業会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市国民健康保険合川診療所特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	北秋田市過疎地域自立促進計画の策定について	賛成多数	原案可決
平成22年度北秋田市老人保健特別会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決	市道路線の廃止について(太田東小線外6路線)	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市介護保険特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	市道路線の認定について(太田東小線外8路線)	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市簡易水道特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	北秋田市米内沢財産区管理委員の選任について	全会一致	同 意
平成22年度北秋田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致	同 意
平成22年度北秋田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決	議会改革特別委員会設置に関する決議について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市坊沢財産区特別会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決	議員派遣の件について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市綴子財産区特別会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決	各常任委員会及び議会運営委員会の所管事務調査について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市栄財産区特別会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決	平成21年度各会計の決算の認定について	決算特別委員会付託	
平成22年度北秋田市沢口財産区特別会計補正予算(第1号)	全会一致	原案可決	※請願・陳情1件、意見書提出2件（P12参照）		

総務財政

財政調整基金残高
16億7836万3千円

当委員会に付託された案件は、予算案10件、単行議案1件、陳情1件でした。

一般会計補予算については、全会一致で原案のとおり可決としました。これにより財政調整基金残高は16億7836万3千円となりました。

過疎自立促進計画に
審議が集中

単行議案「北秋田市過疎地域自立促進計画の策定」については、同計画は元々あった訳であるが、新過疎法の策定により、新たな計画を県に提出する必要があるため、同議案が提出されました。

審査の中で「新過疎法はソフト事業も盛り込むようになつたことが最大の改正点であるにもかかわらず、具体的

な事業計画がとぼしい」という趣旨の質疑が集中し、当局から「今後、計画の見直し等の中で、対応していきたい」との説明を受け、この計画について、見直し等は何度でも可能であることを確認しました。

原案に反対の立場から「ソフト事業を更に拡大していくべきで、計画が具体性に欠けている。若者の定住のための雇用拡大とか、あるいは、医療・福祉・地域を充実させていくことが重要だが、ソフト事業の中に計画として示され

ていないのは不十分、再度、見直しを求める」との討論がありました。審査の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

陳情「司法修習生の給費制の存続を求める陳情書」については、全会一致で採択すべきものとし、意見書を提出することに決しました。

(委員長 黒澤芳彦)



新過疎法の活用

教育民生

大阿仁公民館設置へ

当委員会に付託された案件は条例案4件、予算案3件でした。

北秋田市公民館条例の一部を改正する条例の制定については、委員から8分館を年度途中の9月30日廃止し大阿仁公民館を来年4月1日に設置することの理由は何か、分館を廃止することによって地域の公民館活動が停滞するので

はないかななどの質問がありました。これに対して分館廃止については、利用実態に即した適切な管理運営を行うべきという公民館運営審議会の提案を受け平成20年21年と地域住民に説明させていたき理解を得て来た。

大阿仁公民館については、分館の廃止に伴って地域の連携や活動が滞ることがないよ

う設置するもので地域住民への説明、公民館活動推進委員の選任、審議会、教育委員会の承認、職員の配置等また廃止後の各施設の条例整備の準備期間が必要な事から審議いただいた。分館の活動については、現在阿仁公民館を中心として行われており廃止後も支障なく継続できるとの答弁がありました。

各学校に

地デジの購入

一般会計補正予算では、2612万7千円の補正であり

決としました。

(委員長 松橋 隆)



公民館活動のようす

健康福祉

障害者自立支援 給付システム導入

当委員会に付託された案件は、予算案3件でした。

一般会計補正予算については、障害者自立支援給付支払システム構築委託約2千万円は、現行のものが導入後5年経過し、法改正等に対応できなくなってきたので、安定した信頼性のあるシステムを導入するものです。

各保育園にAED（自動体外式除細動器）の導入は、子ども用と大人用の標準装備となっているので、園児だけでなく、保育士や行事等で保育園に來ている大人の方にも対応できる。との説明に、この時に対応できるように使い方の講習を求めました。

地デジ対応テレビを 共有スペースに

高齢福祉関係では、老朽化したテレビは地デジ対応テレビに更新、まだ使えるテレビはチューナーで対応する。地デジテレビ48台、チューナー36台整備するものです。全部で14施設270台余りのテレビがありますが、今回は共有スペース、談話室等を優先し、個室分は入っていません。

国民健康保険合川診療所特別会計補正予算については、患者が増えたことによる補正であります。

介護保険特別会計補正予算については、今後高齢者が増

えることが予想されることから、安定した保険料に設定するために基金を積んでいる。また、24年度からは第5期の計画が策定されるが、それまで3年間は耐える金額である。また、高額医療合算介護サービス費の制度は、昨年初めての自己負担分が一定の額を超えた場合に支給するものであること。などの説明を受け、慎重に審査した結果、3件とも全会一致で原案のとおり可決しました。

（委員長 中嶋洋子）



共有スペースに地デジ対応テレビを

産業建設

緊急雇用は市民を雇用

当委員会に付託された案件は、予算案5件、単行議案2件でした。

一般会計補正予算について、水田フル活用型生産体制緊急整備事業補助金は、新規需要米対策事業（米粉用、飼料米用）の乾燥機で55万円。農業施設災害復旧事業の7月10日、29日豪雨災害は、23箇所6507万6千円であるが1

ヶ所は実施済みで、今回は22箇所であるとの説明でした。

緊急雇用創出事業については、雇用される人は全て市の非常勤職員である。又県の補助事業の緊急雇用創出臨時対策基金事業、ふるさと雇用再生臨時対策基金事業、市の単独事業の保育士助手、現在9月の5名分も含めて116名である。市に税金が落ちるよ

うに、緊急雇用は市民を雇用するよう努める。などが質疑に対する答弁でした。

住宅リフォーム補助は 総額3千万円に

住宅リフォーム緊急事業補助金については一戸当り14万5千円で207件分、総額3千万円の計上であるが、それ以上の申込者の場合締め切るのかについては、これまでの実績、以降の見通しを月ごとに推計し、この中で納まる見込みとのことでした。

以上予算案は全会一致で原

案可決となりました。

単行議案の市道路線の廃止、認定については、川向萩ノ下線の路線見直しに伴う終点変更についての理由に、終点付近の維持管理上の問題である。又一部駐車場として使用されていることから今後厳正に対処するとの答弁があり、採決の結果、全会一致で原案可決となりました。

（委員長 松尾秀一）



住宅リフォームのようす

一般質問

活かそう市民の声 市政を問う



一般質問は、9月16日・17日の2日間行われ、7名の議員が市長に対して、職員・市民の意識改革、公民館再建、集落営農、議会のネット配信、市の医療、市民病院、過疎対策等様々な問題についてたどしました。

*掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

回答 質問

職員、市民の意識改革

様々な機会に対話で



山田博康 議員
(清 和 会)

握と事務事業の改善の両面から、前者はコスト意識の醸成、後者は前例にとらわれない考え方を基本に市民に対し誠実に、しかも市民の目線で考え対応できる職員像を基本とした意識改革に取り組みます。市民への対応としては移動行政懇話会等の機会を通じて市の現状をご理解いただき、今後共さまざまな機会をとらえ、職員共々住民の皆様との対話を通して共同のまちづくりを推進します。

教育、職場、地域の5つの分野に分けて男女共同参画社会形成のための実行計画の実現に取り組んでいます。女性の起業支援については地域資源を活用した特産品開発事業に女性のきめ細やかな対応を取り入れた取り組みに期待しているところです。

市を元気にする取り組みとして地域、年齢、職業、性別等を考慮した50名前後委員会を設置し、行政課題について、市民の声を聴く考えはないか。

委員会の設置等について今後の総合計画の策定にあたり選択肢のひとつとして検討していきます。

高齢化の進行の中で空き家の増加が懸念されるが、実態の把握を含め、活用できる物件については、利活用に向けて行政としての取り組みが必要ではないか。

平成19年度行政協力委員に依頼して調査した。人口減少する中で安定促進の取組みは重要と考えるので他の自治体の例を参考に空き家の活用に取り組みます。

男女共同参画の推進

継続的な啓発活動を

市民のアンケート調査結果からも、市民はまちづくりに関心を持っています。厳しい財政状況下で職員の意識改革は急務です。住民も従来のような行政依存から脱却させる意識改革が必要ではないか。

職員へは財政状況の把握

基本的な人権の実現という観点から、女性の社会的地位の向上は当然のことであると考えます。女性の社会進出無しには社会の発展が難しい現在、家事、育児分担等、女性の負担軽減の実現は家庭のみの問題で

はなく社会問題として取り組む課題と考えます。また地域活性を実現させる方策として、女性ならではの知恵と技を活用した女性の起業について行政の積極的支援について見解を。

社会全体、家庭、学校

公民館再建で地域に活力を

質 問

新たな建設は難しい

回 答



関口正則 議員
(みどりの風)

ダム水源地域ビジョンの具体化等を進めます。

問 クウインス森吉の施設の機能回復計画と指定管理のあり方に問題はないか。

答 サウナ風呂も故障した

問 災害復旧工事で解体し、廃止された前田公民館の再建はできないか。また公民館が必要でない理由と森吉地区のみ公民館が一ヶ所だけの理由は何か。

答 新たな施設の建設は難しい。自治会館等の有効活用をお願いしたい。当時の市長も含めて建設は難しいとの結論に達した。公民館は必要ないという認識はありません。

問 外国人観光客の受入れ態勢、阿仁スキー場までの利便性、森吉山ダム湖周辺の整備をどう進めるのか。

答 外国人観光誘客のための中国、韓国等へのPRや通訳の確保、阿仁スキー場までの定期的送迎、森吉山

地域医療の諸問題解決を

療養病床、民間と協議中

問 市民病院までの交通アクセスの利便性向上と利用料金の負担軽減について。

答 内陸線米内沢駅での乗継を10月以降駅舎前でできるようにする。利用料金は回数券の使用で負担軽減になると思うが、上乗せ助成は地域のバランス等を考慮して検討します。

問 院外薬局までの安全対策と院内薬局の検討は。

答 院内薬局の設置は困難である。今冬期間の対策は車両運行を検討します。

問 米内沢病院療養病床の民間移管の見通しと職員の

ままで、それに平成19年の水害が発生した。修繕は施工後に共済金を請求する制度上、当面多額の財源が必要となり、完全修復できないまま現在に至っている。早急に調査検討します。指定管理は維持管理面で指導すると共に指定管理者についても鋭意検討中です。

就職斡旋計画の提示は。

答 現在条件面で調整中であるが、療養病床の継続と職員の雇用面を含め、協議調整中であります。職員の処遇に関しては今後も誠意をもって取組みます。

問 林業の再生は大きな課題、秋田杉利用拡大に繋がる事業化で雇用促進を。

答 新政府が林業再生に向けて法律を作った。木造木質化に対して各省庁が地球温暖化対策で何とか事業化した方向で動いているので、様々な機会に県、国へ働きかけていきます。

集落営農の法人化は

質 問

現在鷹巣地区4と合川1

回 答



吉田仁吉郎 議員
(清和会)

組みがおくれているのではないか。

答 現在38の集落営農組織が活動中です。その中で鷹巣地区4組織と合川地区1組織が地域内の農地を中心に特色ある営農を展開しております。今後も農業経営の安定や担い手不足解消、耕作放棄地防止対策等市の農政推進の有効な取組みと考へ、アドバースや手続きに関する指導助言をしながら法人化に向けた取組みをしてみたいです。

問 就業人口の変化や少子高齢化により地域の人口が減少している。とりわけ農村部での著しく農業従事者の高齢化とともに耕作放棄地が増大しつつある。

そこで生れたのが集落を核とした集落営農組織であるが管内では39組織が結成されている法人化の取

空港利用の促進を図れ

開港建設時の熱意を再び

問 住民の強い期待と運動の高まりによって出きた大

館能代空港、開港当時は札幌、大阪、東京便の3路線であったが札幌便は翌11年11月に搭乗率の減少で廃止となり今年は又大阪便が

る。官民一体となった利用促進を図るべきと思うが。

答 空港発着便の搭乗率は年々減少しており大阪便については来年1月廃止が決定されてしまいました。当市といたしましては「空港のある市として」誠に残念で大変危機感をもっている。今後直ちに取組みが出来る事項等当時取組んだフライト預金のように市民や市内企業の皆様が利用しやすい割引価格帯の設定等が出来ないか具体的に事業化を検討して行きたい、また今月空港に道の駅がオープンし住民が空港に目を向けるとともに開港時の熱意を再び盛り上げたい。

問 旧阿仁地区における学校の取組みがありました。他に森吉地区や鷹巣地区にもあると聞いておりますがその実態と今後の学校の扱いと活用は。

答 学校の設定は昭和20年代に行われたようであり旧4町で今年105haとなっている。今後学校林設定校と自治体、自治会の三者で審査して行く。

議会のネット配信は

手法を含めて検討する



議員 大森 光信
(き り)

問 北秋田市の喫緊の課題である人口減少と公共交通の問題について、包括的に取り組む部署あるいはポストが必要ではないか。

答 専門的なデータ収集、政策立案は特定の部署のみならず、全職員が課題意識を持つて取り組まなければならないものと考えております。また、公共交通に取組む部署については、秋田内陸活性化本部が市の交通やセクション、関係機関の機能合体による組織であり、内陸線に限らず秋田内陸地域の公共交通の活性化再生に取組めます。

問 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録の意義とそれに係る経費の財源および周辺に整

備はどうか。

答 縄文時代が歴史的に変重要な価値を持つ時代であり、日本は世界の国々に対してその評価は一層高め

入札制度の改善を

地元でできることは地元に

問 市のホームページ上で議会の録画中継や市長の定例記者会見などを配信してはどうか。

答 今後とも要望が増えてくることが予想されることから、現在進めております情報通信基盤整備事業の進捗とあわせ、他の自治体等の例を参考にしながら検討をしてまいります。

問 入札制度の早期見直しで市内の経済に大きな影響を与えると思うのかがどうか。また、最安値の業者選択するのではなく、コンペやプレゼンテーションなどを実施して、内容も精査す

られ、また世界遺産に登録されることで各地、各国からたくさんの方が訪れること、さらに活動を通じた地域活性化も期待できます。世界遺産登録に係る経費はないものとされており周辺の整備についても来年度からの国庫補助事業により、総合的な整備を文化庁等のご指導をいただきながら進めてまいります。

るべきではないか。

答 「地元でできることは地元に」という考えの下、市内業者への発注については可能な限り配慮しながら常にその優先指名に努めているところです。コンペやプレゼンテーションなどの多様な入札、契約方式については、ご提案の趣旨のとおり、案件によっては大きな効果が得られると考えており、当局においても他団体の事例等も参考にしながら案件に応じて取り入れてまいりたいと考えております。

医療良くするための方針は

医師確保含め努力する



議員 板垣 淳
(共産党議員団)

問 市全体の医療と市民病院を良くするには3つの力がある。

1つは何といっても医師確保。やり方しだいでは一定解消でき、実際、県内の自治体病院でも成功した所がある。市長1人でできる仕事ではなく、市全体で取り組むためのリーダーシップが必要ではないか。同時に、県内9つの厚生連病院にいる医師327人のうち何人かを市民病院にまわすよう強く働きかけるべき。厚生連から「それはできない」と言われて引き下がってきけるようでは話にならない。指定管理は北秋中央病院にさせているのではなく、厚生連にさせているのだから。

2つめ。市民病院の医師は疲へいしているといわれている。少人数で急性期、慢性期すべての患者さんを診るのでは医師の体が持たない。市民病院も市全体の医療も良くするためには、市民病院は急性期に、米内沢病院は慢性期という分業が必要ではないか。

高校生に内陸線定期補助を

検討したい

問 昨今の経済不安から高校生の内陸線通学費が保護者の大きな負担となり、車での送迎が多くなっている。よって内陸線の定期利用者が減少し、経営悪化の一因にもなっている。保護者の負担軽減と内陸線利用促進のために、来年度から高校生に内陸線定期代の補助を行うべきと考えるがいかがか。財源は、合川高校への市の持ち出し約7000万

答 実現の可能性も含めて検討したい。

3つめ。市民病院の患者接遇について、市民からの苦情・要望が実に多い。これを改善しないかぎり市民病院は信頼される病院とはならない。

以上の3つを改善できるかどうかは市長の肩にかかっている。ご自身のお考えは。

答 指摘された3つは私自身への激励ととらえ、努力したい。とくに医師確保については「チーム北秋田」のような形で、市・職員あげて取り組む決意です。

市民病院への苦情要望は

130件来ている



議員 松橋 隆 (政友会)

質問 回答

以降の対策を検討したい。

問 中国には旧県立営農大学校の元留学生とのつながりもあり庁内にチームを作っても中国との交流に取組むべきだ。

答 単なる友好だけでなく室ともいえる人脈を道筋に

B級グルメの開発を

市民からの提案を期待

問 B級グルメの開発を。

答 馬肉の煮付け等もある。市民に掘り起こし提案できればありがたい。

問 秋田大学との連携に一般市民の意見を取り入れるべき。

答 1回目の検討委員会で市民の意見や要望を汲み上げる必要があるのではとの意見もある。どう反映させるか今後検討する。

問 異常気象による作柄は米価決定に対し市長の考え方は。



市民病院 ご意見箱

ビジネスチャンスを図りたい。

問 アイリス第二弾の撮影を北欧の杜で。

答 チャンスがあったら手をあげたい。

問 やや不良となっている農家の手取りが少なからないように関係機関に訴えていきたい。

答 他町で8月末に公金の横領事件が発生している。これをうけて北秋田市の対応は。

問 出納通帳及印かんの管理を分離し支払等については部課長の決裁を経るなどチェック体制の強化を図るよう部課内会計の厳正管理について全職員に会計管理者名で指示をしている。

問 行財政改革について、職員による業務改善ハンドブックの作成を受け、取組み状況とその成果、職員の姿勢の変化を伺います。



議員 武田 浩人 (公明党)

質問 回答

新たな過疎対策について

ソフト事業の効果的推進

答 経済状況の変化に伴い納税者個別の対応が急務です。対話を意識した業務推進を行います。誠意の見えない納税者に対しては、県滞納整理機構と連携しながら早期完納をめざします。

問 過疎地域自立促進特別措置法の改正を受け、効果的なソフト事業の構築と過疎債活用の考えを伺います。

答 ハード事業からソフト事業にも拡充されたため、地域医療、交通手段、集落

新しい福祉について

心の病へ対応策が重要

問 うつなどの心の病への対策と、市におけるうつ病と様々な問題との関連性の実態を確認します。更に新しい福祉の見解を伺います。

答 当市でもうつは年齢に関係なく増加しています。自殺の原因別も病苦が多く

なり大きな関連があると思

の維持・活性化など住民の安全と安心な暮らしの確保を図るために活用したい。

問 災害時要援護者の避難支援対策プランの名簿と、個別計画作成の視点及び完成予定はいつごろですか。

答 災害時に要援護者が安全に避難できるよう、地域との共助により支援体制作りを行うことが視点です。完成予定は、現在全体計画を見直し中のため、防災計画との整合性を図り今年度中の完成をめざしています。

います。児童虐待、高齢者に関わる問題も地域と関連機関との連携強化で対応していきます。見えにくい心の病気への対応策が新しい福祉の視点とことですが、地道な活動が有効な手段と考え引き続き推進致します。

北秋田市新医療整備 基本構想について

8月26日
全員協議会

8月26日に全員協議会が開かれ、新医療整備基本構想について協議しました。

津谷市長より地域連携型医療体制の確立、入院機能集約による経営効率化、在宅医療の充実のための新構想の柱について説明があり、「市の医療について今後の方向性を示した。今後実施計画を策定し、現状の改善に誠心誠意取り組む」と述べました。

担当課からの説明後に質疑が行われ、議員から「市民病院の320床、90億円の建設費は変更できない。今更こんな構想を立てて責任を負えるのか」との意見に、佐藤副市長は「入院集約化で320床を最大限有効活用することが私たちの務め」と答えました。他の議員からは「序文で財政の厳しさに触れているが構想にはその記載がない、医師不足なのに医師充足に

阿仁中学校体育館改築 工事請負契約について

8月26日
第3回臨時会

ついでの記事も欠けている」という指摘もあり、市民病院の未稼働病床の療養病床化については、医師や看護師などが不足しているため、確保に努めているという回答でした。

また、内容を精査する時間が足りないとの意見もあり、後日再協議することとなりました。

第3回臨時議会が8月26日に関わり、阿仁中学校体育館改築工事の請負契約締結を可決しました。

マタギの里観光開発 株式会社について

9月6日
全員協議会

打当温泉や森吉山荘を運営している第3セクターマタギの里観光開発(株)の経営状況や23年度の指定管理の方向について協議しました。

今年3月議会で打当温泉、熊牧場など9施設の指定管理者に指定され、経営再建に取り組んできた同社ですが、21年度決算では約1800万円の赤字計上、22年度は7月までの営業利益169万円

の計画に対し、735万円の赤字を計上し、経営再建が進んでいない現状が明らかになりました。

23年度の指定管理者選定のスケジュールが示されましたが、議員からは経営陣の交代を求める意見や責任を問う声、経営努力が見えないといった指摘がありました。



現在の阿仁中学校体育館

ル)の体育館を新築することとなりました。完成は23年3月を予定。床面積が現在の731平方メートルから増加する理由についての質問に対し、教育委員会より「他校の状況などを参考にした」との回答がありました。

初日は、新潟県十日町市の「大地の芸術祭」について、きのこの生産施設について調査を行った。大地の芸術祭は、十日町市と津南町(越後妻里)で数十ヶ国のアーティストが参加し、3年に一度開催され、昨年開催された「大地の芸術祭越後妻里」が4回目となる。

産業建設常任委員会 所管事務調査報告 芸術祭による観光を学ぶ

7月27日
～
7月29日

い伸びてきており、山之山地区の4千規模のなめこ施設が完成すると、全国シェアの13～14%になるとのことでした。

2日目の築地の東京シティ青果株式会社は、北秋田市はもとより、全国各地の新鮮な食材を中央卸売市場に集約し、仲卸業、スーパー、小売店、外食産業に販売しており、生産者との間で最も大事にしていることは「信頼関係」である等、日本国内の食材を扱う専門商社としての取組む姿勢が感じられました。

(委員長 松尾秀二)



築地市場内にて

また、えのき、なめこの生産は、昨年43億の売り上げで、コメを越す勢



きたあきたしの財政について ～特別会計編～

・前号の一般会計編に引き続き、今回は特別会計についてわかりやすくお伝えします。



そもそも一般会計と特別会計の違いってなんだろう？

つまり、お財布が2つあるってことですね！



「一般会計」は、市の基本的な仕事をするための予算で、皆さんから納付していただく市税や国・県からの補助金などが主な財源です。「特別会計」は、特定の事業を行うための予算で、保険料や使用料などの特定の収入でまかなわれ「国民健康保険事業」や「下水道事業」などがあります。



☆特別会計の各会計ごとに解説付きの表にしてみました。

会 計 名	予 算 額	前年度比増減	一般会計からの繰入れ	解 説
国 民 健 康 保 険	41億6,105万9千円	2億719万7千円	2億2,373万3千円	保険税のほか国、県、市のお金と合わせて医療費を負担する会計です。
国民健康保険合川診療所	2億2,658万1千円	△1,199万8千円	1,027万7千円	合川診療所を運営するための会計です。主に診療による収入により運営されています。
老 人 保 健	419万4千円	△1,121万円	35万5千円	高齢者の保健や医療のための会計ですが、制度改正により廃止され、精算のために残されている会計です。
介 護 保 険	45億2,334万9千円	2億2,418万1千円	6億8,521万2千円	40歳以上の方が加入し、保険料収入のほか、国、県、市のお金と合わせ介護費用を負担している会計です。
介 護 サ ー ビ ス 事 業	1億2,918万1千円	49万2千円	1億1,245万7千円	居宅介護に関する計画及び介護施設の建設等に要した費用の償還を行っている会計です。
簡 易 水 道	7億9,201万6千円	△7,922万1千円	1億8,209万9千円	簡易水道事業の運営をしている会計です。水道使用料のほか国の補助金、一般会計からの繰入金などで運営されています。
農 業 集 落 排 水 事 業	4億3,776万4千円	△1億3,047万3千円	2億493万9千円	農業集落排水事業の運営をしている会計です。使用料のほか、一般会計からの繰入金などで運営されています。
下 水 道 事 業	15億4,296万8千円	3,519万1千円	5億7,491万5千円	下水道事業の運営をしている会計です。使用料、国の補助金、一般会計からの繰入金などで運営されています。
特定地域生活排水処理事業	3,521万4千円	315万1千円	1,639万1千円	合併処理浄化槽の設置、管理を行っている会計です。使用料のほか一般会計からの繰入金などで運営されています。
後 期 高 齢 者 医 療	4億2,693万円	△1,025万9千円	1億2,886万2千円	75歳以上の方を対象とした医療保険の会計です。保険料の徴収は市が行い、運営は秋田県後期高齢者医療広域連合が実施しています。
北秋田市立阿仁診療所	3億9,455万円	皆増	8,000万円	阿仁診療所を運営するための会計です。主に診療による収入により運営されています。
財産区（9財産区合計）	4,673万1千円	△500万2千円	869万6千円	各地区の財産区が所有する財産の管理や運営を行う会計です。現在は九つの財産区会計があります。
合 計	127億2,053万7千円	6億1,659万9千円	22億2,793万6千円	

◆一般会計からの繰入れは、それぞれルールが決められていて、その取り決めにより特別会計へ支出しています。

◆このほかに企業会計として、病院事業、水道事業会計があります。

人事案件

本定例会に2件の人事同意案件が提案され、次のとおり同意することに決定しました。

◎北秋田市米内沢財産区

管理委員

奈良 浩平 氏（新任）

米内沢字葉師下

◎人権擁護委員候補者

三浦 欽一 氏（再任）

三木田字三木田

決算特別委員会を設置

今議会には平成21年度の各会計決算22件も提案されました。各常任委員会から選出された委員による決算特別委員会での審査し、12月議会で結審します。

これに伴い、板垣淳議員を副委員長に選任しました。委員は次のとおりです。

▽委員長

佐藤 文信

▽副委員長

板垣 淳

▽委員

三浦 一英

佐藤 光子

中嶋 洋子

武田 浩人

松尾 秀一

なお、中嶋力蔵議員から決算特別委員長並びに決算特別委員の辞任願が10月18日提出され許可されました。

北秋田市ホームページから 会議録の検索ができます

会議録検索システムにより定例会・臨時会の会議録が検索、閲覧できます。

市ホームページから北秋田市議会、または会議録検索システムを選択して、ご利用ください。

会議録とは……
会議の内容をそのまま記録した公文書で、運営を公認する書類です。
本会議録は、地方自治法に基づき、議長が作成を義務付けられています。

会議録は議会の活動経過を記録するため、また、会議録公開の原則に基づき、住民に会議の内容を公開するために作成されています。



定例会や委員会を傍聴してみませんか



次の定例会は
12月です



あとがき

稔りの秋、とは言えど米価の大幅な下落、収穫量も気になるところです。今定例会では、緊急的な米需給調整対策の早期実現を求める意見書を政府に提出することを決定しました。また議会改革特別委員会が設置され、改革推進に向かって本格的に調査、研究が行われることになりました。議員定数見直しをはじめとする議会のあり方全般について、議論が交わされることは「市民の皆様から期待される議会づくり」に向けて大きな一歩であると思います。

当広報委員会では、限られた紙面で皆様に正確な議会情報をお伝えするのが、いかに難しいことか、回数を重ねる毎に改めて痛感しています。「市民の皆様から評価していただける議会報づくり」を目指したいと思います。

季節の変わり目、健康には日々もご留意を。

（広報公聴特別委員会

関口正則）

○本会議 本庁舎議事堂
○委員会
総務財政常任委員会 合川庁舎
教育民生常任委員会 本庁舎
健康福祉常任委員会 阿仁庁舎
産業建設常任委員会 森吉庁舎

産業建設常任委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎

総務財政常任委員会

合川庁舎

本会議

本庁舎議事堂

委員会

森吉庁舎

健康福祉常任委員会

阿仁庁舎

教育民生常任委員会

本庁舎